

2024年度（総合型選抜）AO選抜入学試験
文学部 日本史研究学域 「人文学プロポーズ方式」

【選考講評】

1. 実施状況

志願者数、合格者数等

学科・学域・専攻	志願者数	一次合格者数	最終合格者数
日本史研究学域	22	16	8

2. 第一次選考<ES(エントリーシート)と課題レポート・志望理由書等>

(1) 評価ポイント

- ①本学域で学ぶ強い意欲があり、本学域が志願者の希望に照らして適切である。
- ②自分の考えを論理的に明確に述べられる。

(2) 解答状況

学習意欲は総じて高かったのですが、興味関心のある研究分野に対する具体性に、受験者間のばらつきが見られました。

3. 第二次選考

(1) 評価ポイント

- ①高校の成績・学習計画書の内容などを参考とした、当該学域での学習をすすめられる基礎的学力の有無。
- ②大学進学後のゼミでの学習などに必要な質疑応答能力の有無。
- ③自身の興味関心に基づいた研究課題の設定（自律的な問題発見）の内容。
- ④課題・問題に対する探求の意欲と能力の有無。

(2) 解答状況

- ①研究課題の設定に対する探求力について、受験者により差が見られました。
- ②質問に対してはおおむねしっかりと受け答えがなされていました。
- ③自身の興味関心や研究設定に具体性がない受験者もいました。

(3) 試験（プレゼンテーション・面接）内容

学習計画書の記載内容を中心に、必要な基礎学力、自律的な問題発見能力、表現力、学習意欲などを総合的に評価しました。

(4) 出題（プレゼンテーション・面接）の意図

大学進学後の学習についていけるか、現時点での学力とともに、進学後のポテンシャル（潜在能力）を見極める意図も大きいです。

(5) 受験生に望むこと、その他気付いた点

- ①自身の興味関心に基づいて設定した研究課題に対し、どのように探求することで明らかにすることができるか（できたか）をプレゼンテーション・面接で表現してください。
- ②新書・選書など、学術書の入門的なものを何冊か読むことをお勧めします。

以上